

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

第 8 回賢明な利活用及び地域振興検討合同部会 議事要旨

日 時：平成 29 年 11 月 22 日（水） 13 時 30 分～15 時 10 分

場 所：栃木市藤岡遊水池会館 2 階大会議室

出席者：別紙出席者一覧表（構成員：36 団体中 20 団体（26 名）

オブザーバー：4 団体中 0 団体（0 名）

<議事要旨>

※当部会については、栃木市が事務局を務めることとなっており、栃木市が部会長を担当。

栃木市遊水地課田村主査が司会進行。

(1) 開会

- ・司会より開会の辞

(2) 挨拶

- ・本会の部会長を務める、栃木市遊水地課 荒川課長より

【部会長】

・昨今、遊水地については、様々な情報が出ており、野鳥（冬鳥）に関して、たくさんの方が訪れている。また、冬場ということで富士山などの風景を求めてカメラ愛好者の方も多い。正に素晴らしいところである。

・また、ラムサール条約湿地登録 5 周年を記念して配布しているカードについても、遊水池会館をはいめ、毎日多くの方が来館し、県外やかなり遠方からも来ている。

・そういった部分が、色々ところで情報発信がされており、この遊水地が注目されている。

・協議会や合同部会としてやっている意義がかなりあると自信を持っている。

・今回は、引き続きのテーマであるアクセスネットワーク化については、事務局で整理した素案を提示する機会を設けさせていただいている。

・新たなテーマである観光、エコツーリズムについてですが、2020 年の東京オリンピック等を見据えて、様々な分野で、各自自治体などでも、観光という視点での議論が出されている。

・この遊水地においても、この広大な資源を活かして、エコツーリズムをはじめとして、観光という視点をもって、各団体においても取り組んでいる様々な事業について、ネットワーク化を図り情報発信等していければと考えている。

・グループワークでの検討としては、第 1 回目となるので、ぜひ忌憚のないご意見等をお願いしたい。

・司会より配布資料の説明と確認あり

(3) 議題の (1)「部会のテーマ及び進め方について」、(2)「具体的テーマについて」

【議長】

・議題の (1) 及び (2) について、関連があるので、一括して事務局より説明をお願いする。

○事務局

・資料 1 に基づき説明を行う。①アクセス道路ネットワークについての説明で区切り、議長より質疑応答を求めた。

【議長】

・構成員の皆様には、この場で初めて提示をするもので、ご意見をと言っても、個別の内容となってしまうと思うが、あくまでの素案ということで、この後手直しをかけていくもの。

・総括して、何かご意見等があれば、お願いしたい。

○構成員

・藤岡駅を出たところに案内看板があるが、内容が少し分かりにくいのが、どこが管理しているのか。

・史跡保全ゾーンの看板は、谷中湖周辺のみでの表示で全体が分からないなので、新赤麻橋と同じようにしてもらいたい。

・北エントランスから入った横断道路から、史跡保全ゾーン方面への入口の表示はあるが、上の方で分かりにくいので、改善してもらいたい。

○議長

・1つ目の質問については、観光協会が設置した藤岡の観光案内看板である。

・史跡保全ゾーン看板等については、ご意見として承る。

○構成員

・各地図に第2調節池の新たに掘削された池の絵をいれられないのか？

○構成員

・サイクリングロードマップに水飲み場やビューポイントを追加したらどうか。

・看板については、遊水地らしい色や形を考えるべきである。

・位置表示看板には、地点名や市町村名も必要ではないか。自転車向けのサインも必要ではないか。

○議長

・貴重なご意見として、承りたい。

○構成員

・野木町へのルートは、どのあたりなのか？

・北エントランスでは、群馬県側（古河方面）からの出入りが使いづらい。

○事務局

・野渡橋が、以前は車両通行止めとなっていたが、現在は通行可能となったのでそこからのルート。

・2つ目の件については、ご意見として承る。

○構成員

・ルートマップ等は、どこにどうやって誘導するのか？どうやってどこに行けるのかを表示すべき。

・活用方法を示して欲しい。

○議長

・そのあたりは、次回、お示しできるようにしたい。その上でご意見を再度伺いたい。

・①のテーマについて、その他ご意見・ご質問が無ければ、②の観光、エコツーリズムのテーマに

ついて、事務局の説明をお願いする。

○事務局

・②の観光、エコツーリズムのテーマについて、資料1（2ページ以降）によりこの後のグループワークでの検討の進め方等を説明。

【議長】

・何か、質問、意見等があればお願いしたい。

・特になければ、早速グループワークをお願いしたい。

【グループワークの結果】

A グループの意見交換の内容

①遊水地の魅力は何か？

- ・歴史、自然、スカイスports、野鳥、治水機能の5つが挙げられた

②魅力を伝える場所や手段は何か？

- ・観察会を活用する（野鳥観察は、早朝や夕方が良いので民間の宿泊施設等と連携して1泊してもらうのも良い。）
- ・ヨシやヨシズなどの活用等を通して、遊水地周辺地域の人々の暮らしや文化（ヨシズ編み、水塚、葦舟づくり）を知ってもらう。
- ・旧思川や旧巴波川の歴史などについては、地図の上では分からないのでガイド等の説明により伝えていく。
- ・ラムサール条約湿地である点に配慮した保全作業への参加や湿地の保全に繋がる学習など
- ・足尾銅山等と遊水地を組み合わせた歴史と自然を中心としたエコツアー

③受け入れ体制や人材の確保など必要なものは何か？

- ・エコミュージアムの核となるビジターセンターとそこを活用するための住民と行政による運営委員会的なもの
- ・誰を対象にするのか？どう組み合わせるか？の仕組みづくり
- ・地域のメリットや参加者の意見

B グループの意見交換の内容

①遊水地の魅力は何か？

- ・動植物 … 谷中湖の水鳥、オオセッカ、チュウヒなど
- ・歴史 … 谷中村の史跡
- ・多様な利用 … ヨシ焼き、Sports、イベント
- ・治水 … 越流堤など
- ・利水 … 谷中湖

②魅力を伝える場所や手段は何か？

- ・「歩く」ことで歴史、野鳥、植物を観察できる
- ・魅力あるおみやげ

③受け入れ体制や人材の確保など必要なものは何か？

- ・谷中村の全様を示す案内板
- ・ヨシ焼きの見学案内
- ・野鳥の観察台
- ・動植物の参考となる写真
- ・何を中心に据えた魅力を発信していくかを考えること
- ・地域・地元はどういったメリットがあるかを考えること

④結論としては、「どういった方向で渡良瀬遊水地を舞台としたエコツーリズムを進めていくかを考える必要がある。」のが議論の中心であった。

【エコツーリズム実施に当たる留意事項】

- ・遊水地の魅力（動植物・歴史・利活用・治水・利水）の中で、何を中心に据えた魅力を発信

していくかを考えることが必要。

【エコツーリズム実施に当たる大切な視点】

- ・地域・地元はどういったメリットがあるかを考えることが必要。

【議長】

- ・色々なご意見を頂戴したが、時間がなく、議論の途中で終了となってしまい申し訳ない。
- ・魅力という点では、遊水地においては、既に十分なものがあると思う。
- ・外から来る人々に、その魅力をいかにして伝えるのか、簡単なようで中々難しいテーマである。
- ・この部会での取り組みを、どういった方向で進めていくのかもポイントであるとの意見もいただいている。
- ・遊水地だけでなく、周辺地域の歴史や食文化などを含め、この部会での検討を通じて、協議会として情報を発信していくことが、地域振興にも繋がると考える。
- ・次回の部会においても、引き続き、忌憚のないご意見等をお願いしたい。
- ・よろしければ、以上で、議事終了とする。

(4) 情報交換

○事務局

- ・(その他) わたらせ未来基金から情報提供資を紹介。
- ・(その他) ラムサール湿地ネットわたらせからの資料を受付での配布により紹介。
- ・(その他) 利根上(遊水池出張所所管)より情報提供のあった谷中湖野鳥観察台の状況について

の

説明

(5) その他

○事務局

- ・その他、何か協議事項等があればお願いしたい。
- ・特になし。

(6) 閉会

- ・司会より閉会の辞